



生きものしらべの対象「セミ」

【セミを調査の対象とした背景】

セミは、枯れた木の枝や樹皮に卵を産みます。多くのセミは翌年の6月ごろに幼虫になり、土の中で1~6年の間、木の根の汁を吸って育ち、夜に土から出て木に登り、羽化して成虫になります。セミには木と土が必要で、気候の変化によって羽化する時期が変わってくるものも確認されており、自然環境の変化を受けやすい生きものです。成虫は2週間から1か月間程度しか生きられずオスだけがメスを呼ぶために鳴きます。

種類によって鳴き声のほか、体の大きさや色、よく見られる木が違います。

家や学校、公園、神社・寺、畑などの木で見かけやすいものや、樹林地で鳴き声が聞こえるものがあるので、どんなセミが見られ、鳴き声が聞こえて、数や種類が昔と比べてどう変わってきているのかについて、みんなで考えてみませんか？



アブラゼミ



ミンミンゼミ



ニイニイゼミ



ツクツクボウシ



他にも、クマゼミが数多く確認されています。

掲載している写真は、かわさき生き物マップに投稿いただいたものです。（投稿者：ペンネーム gamera さん）

調べてみよう！

セミの鳴き始めと鳴き終わり日を 2011 年と比べてみよう。

「セミ発見情報 2011」から セミの種類	2011 年		比べてみましょう	
	鳴き始め	鳴き終わり	鳴き始め	鳴き終わり
ニイニイゼミ	6月15日	9月24日		
アブラゼミ	7月2日	9月23日		
ヒグラシ	7月10日	9月13日		
ミンミンゼミ	7月12日	10月16日		
クマゼミ	7月24日	9月24日		
ツクツクボウシ	8月12日	10月16日		

セミの抜けがら調査



初夏（しょか）の夕方、セミたちは羽化のために土から出てきます。抜けがらから、どんな木にどの種類のセミが羽化したか調べてみよう

ニイニイゼミ



アブラゼミ



触角（しよっかく）の第3節（せつ）は第2節の1.5倍の長さ

ツクツクボウシ



鼻先の出っぱりが大きい

クマゼミ



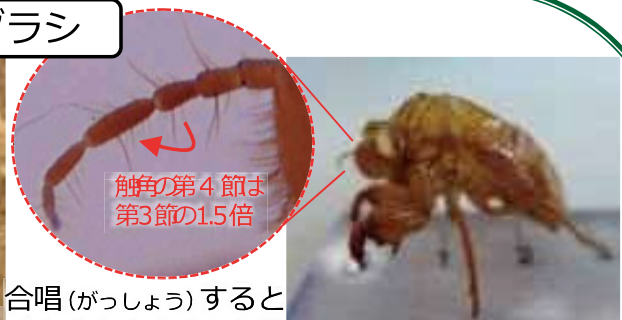
出べそ

ミンミンゼミ



触角の第2節と第3節の長さが同じ

ヒグラシ



触角の第4節は第3節の1.5倍

合唱（がっしょう）すると「カナカナカナ」と聞こえる

じゅりんち
市内の樹林地
で確認しやすいセミ

セミの抜けがらの写真は、(公財)川崎市公園緑地協会からの協力を受けて撮影したものです。